

2 み前につどい

1. み前に集い 主のみ名をあがめよう
み前に集い 主のみ名をあがめよう
救い主キリストのみ栄えをほめようとしえに
2. 心をあわせ 主のみ名をあがめよう
心をあわせ 主のみ名をあがめよう
救い主キリストのみ栄えをほめようとしえに
3. きよき手をあげ 主のみ名をあがめよう
きよき手をあげ 主のみ名をあがめよう
救い主キリストのみ栄えをほめようとしえに

「たたえますとこしえに」

(詩篇92:8)

たたえます

あなたは とこしえに

誉(ほま)れとさんび うけるかた

あがめます

みまえに立ち たえず

心から礼拝(れいはい)します

新聖歌474番 「主がわたしの手を」

- 1 主がわたしの手を 取ってくださいます
どうして怖がったり 逃げたりするでしょう
* 優しい主の手に すべてをまかせて
旅ができるとは 何(なん)たる恵みでしょう
- 2 あるときは雨で あるときは風で
困難はするけれど なんとも思いません
* (くりかえし)
- 3 いつまで歩くか どこまで行くのか
主がその御旨(みむね)を なし給(たま)うままです
* (くりかえし)
- 4 誰もたどり着く 大川(おおかわ)も平気(へいき)です
主がついておれば わけなく越えましょう
* (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌138番 「よろずのもの」

- 1 よろずのもの 永遠(とわ)にしらす み父よ
今恵みを くだしたまえ 御名をほむる われらに
- 2 人となりし 救いのみ子 主イエスよ
利(と)きつるぎの み言葉もて
しめしたまえ まことを
- 3 いともつよき なぐさめぬし 御霊(みたま)よ
わが心を おさめたまえ 今よりのち 離れで
- 4 三(み)つにまして ひとりにます み神よ
み名のさかえ ほめたたえて
永遠(とこしなえ)に したがわん アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン